

各自衛隊の体制 — 海上自衛隊①

新たな体制

- 常続監視や対潜戦等の各種作戦の効果的な遂行により、周辺海域を防衛し、海上交通の安全を確保し得るよう、各種事業を推進し、海上優勢を確実に獲得・維持

護衛艦部隊の体制

護衛艦

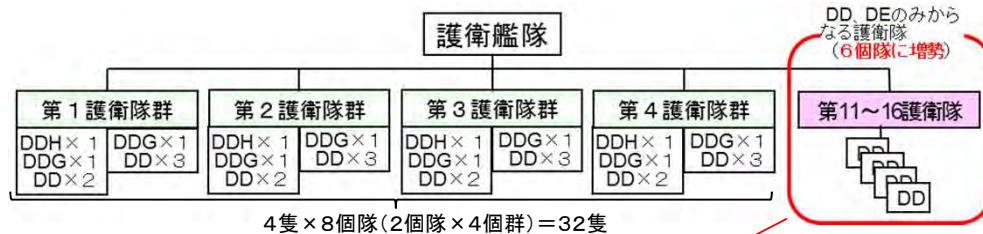
※ H25末隻数: 47隻

(22大綱: 48隻(12個護衛隊) → 25大綱: 54隻(14個護衛隊))

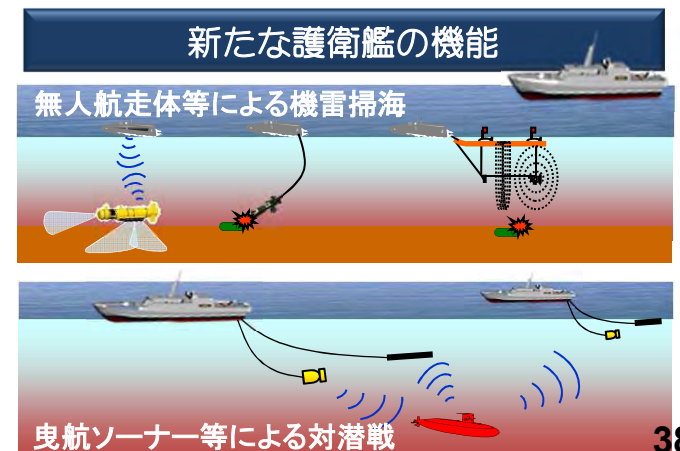
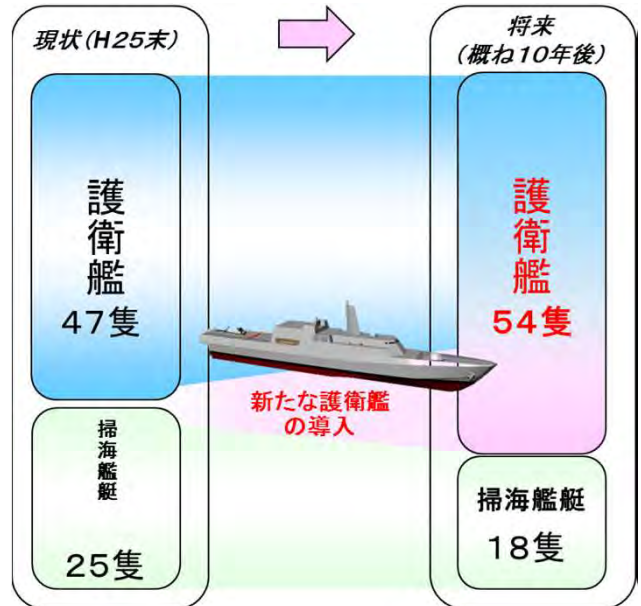
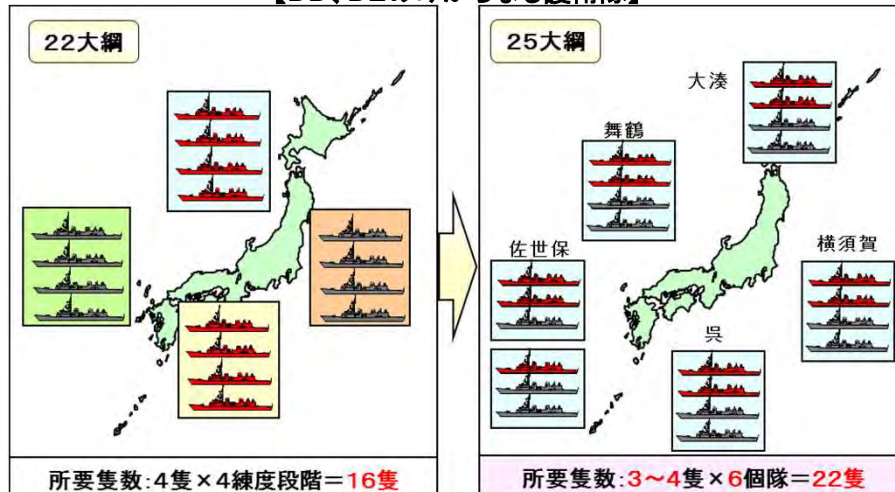
- **新たな護衛艦(多任務対応・船体コンパクト化)**の導入による増勢
→ 取り外し可能な装備の搭載により、機雷掃海や対潜戦に対応
- **イージス・システム搭載護衛艦の2隻増勢**による8隻体制の確立
- 汎用護衛艦(DD)の継続整備



新たな護衛艦



【DD、DEのみからなる護衛隊】



各自衛隊の体制 — 海上自衛隊②

潜水艦部隊の体制

潜水艦 ※ H25末隻数:16隻
(22大綱:22隻→25大綱:22隻)

- 建造及び延命の組み合わせによる増勢の継続



哨戒機部隊の体制

哨戒機

- P-1の継続整備による固定翼哨戒機(P-1/3C)の体制維持(65機)
- 哨戒ヘリコプター(SH-60K/J)の増勢(22大綱:72機→25大綱:80機)



その他

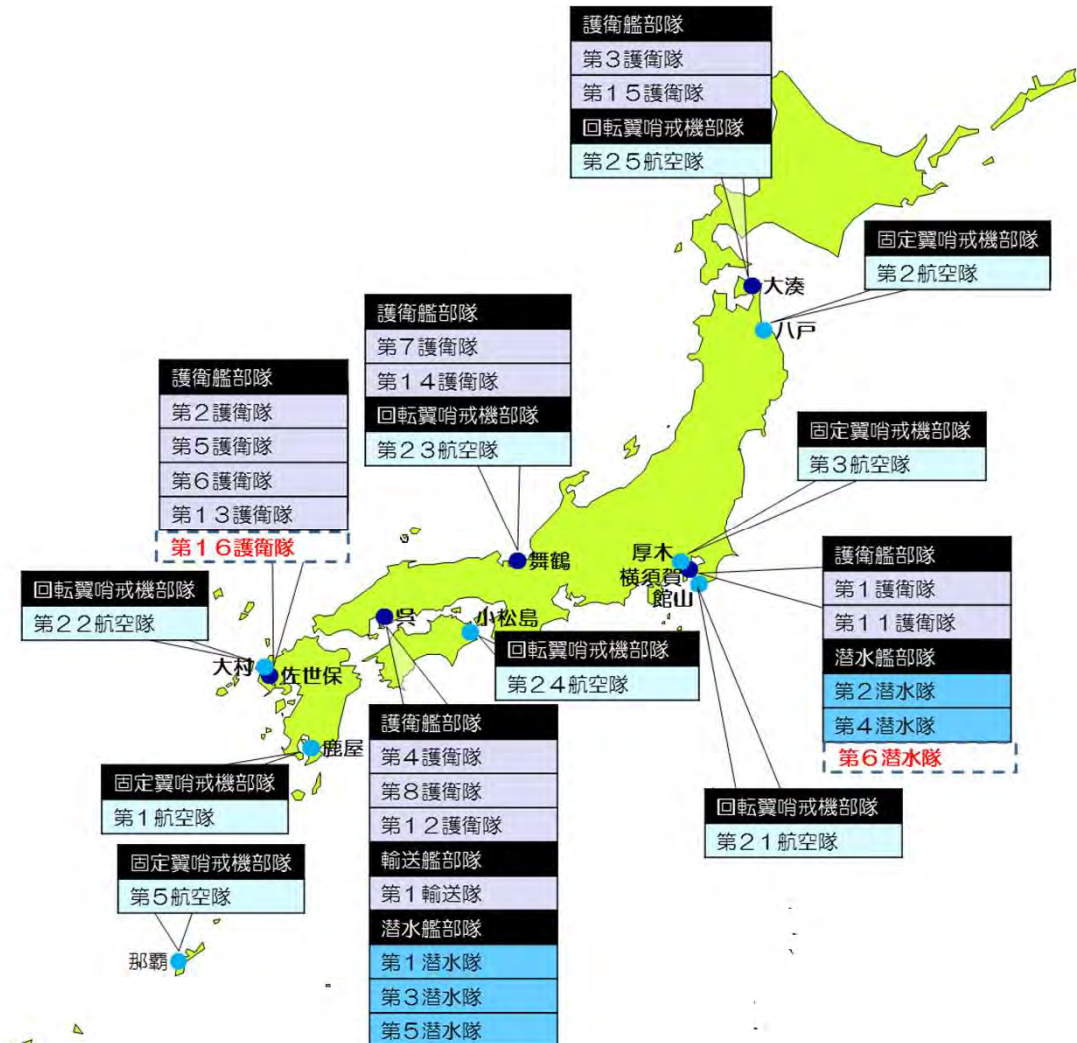
その他主要事業

- **輸送艦の改修**(水陸両用車やティルト・ローター機も運用)
- 水陸両用作戦等における指揮統制・大規模輸送・航空運用能力を兼ね備えた**多機能艦艇の在り方についての検討**
- **新たな護衛艦への対機雷戦機能付与**
- 既存の艦艇(護衛艦等)及び航空機(P-3C・SH-60J)の延命



護衛艦・潜水艦・航空機部隊等の司令部所在地等

※ 赤字は今後新設予定



各自衛隊の体制 — 航空自衛隊①

航空警戒管制部隊

H25年度末

警戒管制部隊 : 8個警戒群
: 20個警戒隊

警戒航空部隊 : 2個飛行隊

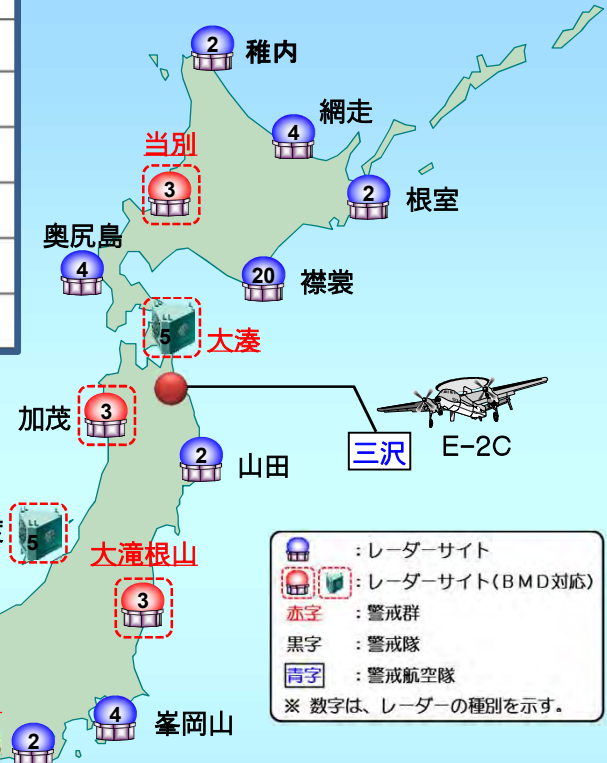
25年大綱

警戒管制部隊 : **28個警戒隊**

警戒航空部隊 : **3個飛行隊**

- 警戒管制業務の防空指令所(DC)への集約化等により、**警戒群を段階的に警戒隊に移行**
- 警戒航空部隊に**1個飛行隊を新編**

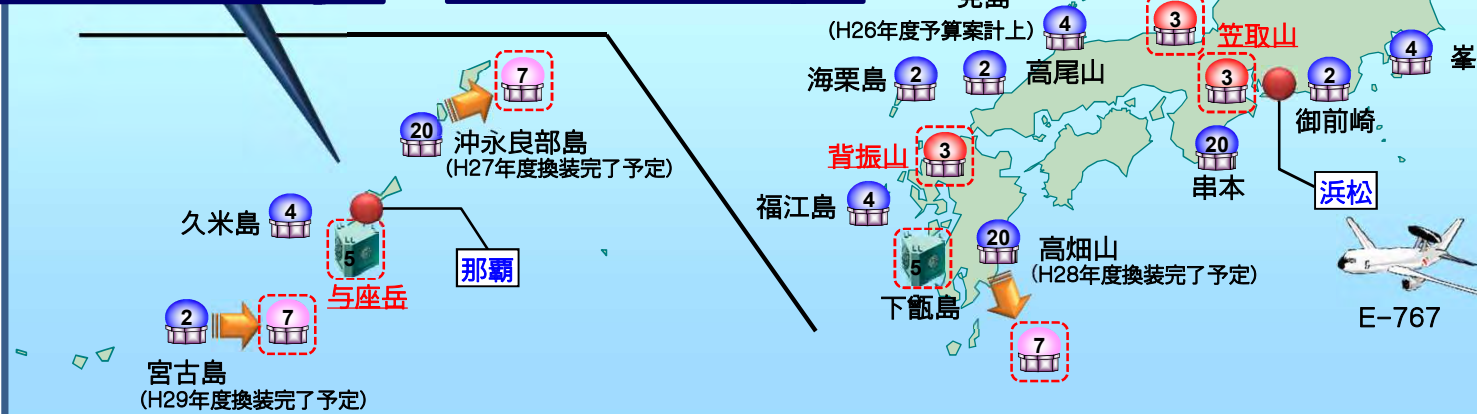
種類	
	FPS-20・6
	FPS-2
	FPS-3
	FPS-4
	FPS-5
	FPS-7



E-2C部隊の2個飛行隊化



新早期警戒(管制)機の整備



固定式警戒管制レーダーの整備

